



軟鋼及び高張力鋼用のエレクトロスラグ 溶接ワイヤ及びフラックス

JIS Z 3353 : 2013

(JWES)

平成 25 年 6 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 溶接技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	栗飯原 周二	東京大学
(委員)	伊 勢 典 浩	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	榎 本 正 敏	一般社団法人軽金属溶接協会
	太 田 幸 男	高圧ガス保安協会
	北 田 博 重	一般財団法人日本海事協会
	吉 良 雅 治	一般社団法人日本産業機械工業会
	下 村 孝	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	高 田 一	JFE テクノリサーチ株式会社
	竹 本 正	大阪大学名誉教授
	谷 口 元	社団法人日本建設業連合会（株式会社竹中工務店）
	中 田 一 博	大阪大学
	中 野 利 彦	株式会社神戸製鋼所
	長谷川 博	社団法人日本溶接協会
	山 下 泰 生	株式会社神戸製鋼所
	山 根 敏	埼玉大学

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 11.11.20 改正：平成 25.6.20

官 報 公 示：平成 25.6.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本溶接協会

(〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 4-20 溶接会館 TEL 03-5823-6324)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会（部会長 稲葉 敦）

審議専門委員会：溶接技術専門委員会（委員長 栗飯原 周二）

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室（〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 種類及び記号の付け方	2
4.1 ワイヤ	2
4.2 フラックス	3
4.3 消耗ノズル	4
5 品質	4
5.1 ワイヤ	4
5.2 フラックス	5
5.3 消耗ノズル	6
5.4 溶接金属の機械的性質	6
6 試験方法	7
6.1 ロットの決め方	7
6.2 ソリッドワイヤ及び消耗ノズルの金属管の分析試験	7
6.3 メタル系フラックス入りワイヤの分析試験	8
6.4 フラックス及び消耗ノズルの被覆剤の分析試験	8
6.5 フラックスの粒度試験	8
6.6 溶接金属の引張試験及び衝撃試験	8
7 検査方法	11
8 製品の呼び方	11
9 包装	12
10 表示	12
10.1 製品の表示	12
10.2 包装の表示	12
解 説	13

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本溶接協会（JWES）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS Z 3353:2007** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

軟鋼及び高張力鋼用の エレクトロスラグ溶接ワイヤ及びフラックス

Electroslag welding wires and fluxes for mild steel and high strength steel

序文

この規格は、非消耗ノズル式及び消耗ノズル式のエレクトロスラグ溶接に供する溶接材料（以下、溶接材料という。）として 1999 年に制定され、その後 2 回の改正を経て今日に至っている。前回の改正は 2007 年に行われたが、その後に新しく開発された高張力鋼に適合した強度区分材料の追加、引用規格の改正内容の反映、及びワイヤの形態としてメタル系フラックス入りワイヤの追加のために改正した。

1 適用範囲

この規格は、軟鋼及び引張強さが 490～590 MPa 級高張力鋼のエレクトロスラグ溶接に適用するソリッドワイヤ及びメタル系フラックス入りワイヤ（以下、両者を総称してワイヤという。）、フラックス並びに消耗ノズルについて規定する。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

- JIS G 0203** 鉄鋼用語（製品及び品質）
- JIS G 0320** 鋼材の溶鋼分析方法
- JIS G 0321** 鋼材の製品分析方法及びその許容変動値
- JIS G 3101** 一般構造用圧延鋼材
- JIS G 3106** 溶接構造用圧延鋼材
- JIS G 3115** 圧力容器用鋼板
- JIS G 3129** 鉄塔用高張力鋼鋼材
- JIS G 3136** 建築構造用圧延鋼材
- JIS Z 3001-1** 溶接用語－第 1 部：一般
- JIS Z 3001-2** 溶接用語－第 2 部：溶接方法
- JIS Z 3111** 溶着金属の引張及び衝撃試験方法
- JIS Z 3200** 溶接材料－寸法，許容差，製品の状態，表示及び包装
- JIS Z 3253** 溶接及び熱切断用シールドガス
- JIS Z 3352** サブマージアーク溶接用フラックス
- JIS Z 3423** 溶接材料の調達指針